

訪問診療・往診・訪問リハビリテーション

医療法人平和会
ひさまつクリニック

Wenson 通信

～うえんそんつうしん～

VOL.3

■院長が講演を行いました

紫陽花が大輪の花を咲かせる時期となりました。皆様お変わりございませんか？

さて、5月23日に当院の久松憲明院長が介護の森株式会社「連携の会」にて「在宅医療～できること、できないこと、めざすもの～」というタイトルで講演を行いました。参加者は59名。参加者からは「訪問診療において、患者様やご家族様を中心とした、医療・介護その他のインフォーマルサービスの連携が大変重要であると感じた。訪問診療が実際にどのように行われているか、分からないことも多かったが、話を聞いたことで、実際の在宅診療のイメージが湧きました」などのご意見をいただきました。当院の職員も参加させていただき、講演会後の懇親会では多数の皆様と情報交換等を行うことができました。



▲ 講演をする院長

■訪問での作業療法って？

当院では4月より理学療法、言語聴覚療

法に加えて作業療法も訪問リハビリで行えるようになりました。担当の稲留OTが作業療法について解説します。

『訪問リハビリでの作業療法士（OT）は、医師の指示のもと、脳血管障害や骨折などでおこる後遺症や高次脳機能障害等のほかに、老年期障害等により日常生活にお困りの方、またはそれが予測される方に対し、作業活動を通して心身機能の回復・維持を図るリハビリを行います。作業療法士（OT）が行う作業活動とは、日常生活に必要な様々な動作（食事、排泄、入浴、更衣、

歩行等）や、家事、仕事、趣味、遊びなど、生活全般に関わるあらゆる活動のことを示します。訪問作業療法では、これらの作業活動を通してご自宅や地域で安心して生活が送れるよう、ご本人・ご家族のご希望に沿ったリハビリプランを立案し、必要に応じ評価・治療・指導・援助をご自



▲ 稲留OT

宅で行います。また、福祉用具および日常生活関連機器や住環境に関する相談・アドバイスなども行います」作業療法につきましては、稲留までお気軽にお問い合わせください。

■定例勉強会のお知らせ

5月は27名の方に参加していただきました。ありがとうございました。次回は6月10日の予定です。詳細はホームページをご覧ください。座席に限りがありますので、早めにお申し込みを！

研修報告

第16回日本在宅医学大会へ参加、浜松上陸！

看護師 荒田 友紀

3月1日・2日に静岡県浜松市で開催されました「第16回日本在宅医学会大会」に事務主任の川路と参加してまいりましたので、ご報告させていただきます。昨年、松山で開催された際にも参加したのですが、この学会とはとにかく規模が大きい事が特徴です。医師、看護師、介護福祉士、ソーシャルワーカー、ケアマネージャー、理学療法士等セラピスト、栄養士、事務スタッフ・・・全国から多職種の方が参加されますので数千人規模の学会となります。今年の学会は認知症に関するシンポジウムやセッションが多いことが特徴でした。今や患者数462万人にのぼる認知症、地域でどのように支えていくか、薬剤の使用方法など学びました。また在宅での看取り対応について、がん患者・ご家族の心のケアについてなど各施設の現状や取り組み・今後の在り方について学びました。神経難病患者の望む医療については実際にALS(筋委縮性側索硬化症)の患者様のお話しもありました。それぞれの施設・病院の取り組みなどの発表から在宅を支えるためのとても熱い想いが伝わり、在宅医療分野での勉強不足を痛感しました。今回の学会での学びを活かし、ひさまつクリニックの看護師として、これからも熱意を持って全力投球で一人一人の患者様の生活を支えていきたいと思ひます。

追伸：学会会場に家康くんがいました！浜松餃子もいただきました！うなぎは断念・・・(>_<)

